

授業概要

本講義では、教育相談の基礎理論と技法の理解を目指す。基礎的なカウンセリングの理論及び技法、乳幼児期・児童期・思春期に生じうる問題と対応、多職種との連携について講義する。また、アクティブ・ラーニングとして、グループ・ワークを用い、体験を通じた事例理解を目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス, 教育相談とは何か
第 2 回	教育相談における連携と協働①: チーム学校(園)の基礎, 専門職の役割
第 3 回	教育相談の基礎知識①: カウンセリングの代表理論と基礎技法
第 4 回	教育相談の基礎知識②: カウンセリングマインド, 保護者との関係づくり
第 5 回	子どもの発達と生じうる問題①: 乳幼児期~児童期
第 6 回	子どもの発達と生じうる問題②: 思春期~青年期
第 7 回	教育相談の実際①: 不登校・不登園
第 8 回	教育相談の実際②: いじめ
第 9 回	教育相談の実際③: 発達障害
第 10 回	教育相談の実際④: 児童虐待・非行
第 11 回	教育相談の実際⑤: 精神障害・自殺, 希死念慮
第 12 回	教育相談の実際⑥: 心身症・ヤングケアラー
第 13 回	教育相談の実際⑦: LGBTQ・言語的マイノリティ(外国籍児童・生徒)
第 14 回	教育相談における連携と協働②: 円滑な連携のための情報の活用, 幼保小中の連携
第 15 回	教育相談の予防的活用: 保護者面談, 心理教育
第 16 回	筆記試験

到達目標

1. 幼稚園・小学校・中学校における教育相談の意義, 理論及び技法について説明できる。
2. 幼稚園・小学校・中学校における発達段階と生じうる問題について説明できる。
3. 幼稚園・小学校・中学校において生じうる問題への理解と対応について, 体験を通じた事例理解ができる。
4. 教育相談における連携・協働の意義と具体的手法について説明できる。

履修上の注意

1. 20分以上の遅刻は欠席扱い, 遅刻3回で1回の欠席とする。リアクションシートの未提出は, 欠席とする。
2. すべての授業でリアクションシートの提出を求め, 翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
3. 許可のない限り, 機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。
4. 授業内でグループワークを行う。

予習・復習

授業計画や授業内で提示する資料を参照し, 各自予習復習を行う。授業内で理解したこと, 疑問を持ったこと, 興味をもったことをまとめる。

評価方法

リアクションシート(40%), 定期試験(60%)で評価する。定期試験は, 穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は, 授業内で提示する。

テキスト

各回のパワーポイント資料。その他は, 適宜授業内で提示する。